

平成 21 年 11 月 日

多古町長 菅澤英毅 様

千葉県知的障害者入所施設家族連合会
多古支部長
ひかり学園保護者会会長 坂井 辰巳

「新型インフルエンザワクチンの接種」に関する要望書

標記の件について、「新型インフルエンザワクチン優先接種対象者についての考え方」に関しまして、下記のとおり要望書を提出させていただきます。

つきましては、下記の本要望書の内容についてご理解をいただき、知的障害児・者に対する特段の配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

厚労省では、新型インフルエンザ (A/H1N1) 2009 につきまして、国立感染症研究所が、平成 21 年度の 33 週感染症動向調査で定点あたりの報告数（定点数約 4,600 ヶ所、報告数 7,700 人）が、季節性インフルエンザの全国流行開始と判断される指標値を上回ったと公表したことから、8 月 21 日、新型インフルエンザが流行シーズンに入ったと判断されました。

これに伴い先般、厚労省は新型インフルエンザワクチンの優先接種順位を発表しましたが、知的障害児・者はその対象に指定されておりません。しかし、知的障害児・者の中で、ダウン症・てんかんの症状がある人達や、日頃から抗免疫抑制剤を服用している人達は、新型インフルエンザに感染した場合、重症化しやすいということが指摘されています。また、知的障害者が罹患した場合、本人が罹患したことを訴える事が殆んどできず、手遅れになり重症化したり、感染源になり施設全体に広がる恐れがあります。

また、NHK のニュースによれば、アメリカの CDC(疾病対策センター)はアメリカ国内で新型インフルエンザに感染して死亡した子ども 36 人のうち、3 分の 2 に当たる 24 人に知的障害などの発達障害（自閉症）及び慢性的な病気があったことを明らかにし、こうした者に対しては特に迅速に治療を行なうよう呼びかけました。

上記の事から、基礎疾患を多くあわせ持つ知的障害児・者はウイルス感染を併発することで症状が重くなりやすいと指摘されています。このことから、集団生活している入所施設・通所施設・グループホーム・ケアホーム等の利用者と施設職員について、ワクチン接種を優先的に行なってくださいますようお願いいたします。